

「グリーン購入ガイドライン」グリーン購入ネットワーク（GPN）（事例5）

グリーン購入ネットワークが発行している「購入ガイドライン」では、会員のメーカー企業、購入側企業、消費者団体、環境NGO、自治体などが参加して、半年以上の議論を踏まえ、同ネットワークで定めた基本原則に基づいて商品分野ごとの購入指針を策定している。

また、「環境に配慮した商品のデータベース」は、「購入ガイドライン」に沿って商品を環境面から比較選択できるように、各メーカーが提供する約5000商品の環境情報を一覧表にまとめており、商品分野ごとにした冊子と、Web上の「グリーン購入のためのGPNデータベース」を提供されている。

エコマーク商品総合情報サイト/日本環境協会（事例6）

エコマーク商品の分野別カタログがWeb上で掲載されているが、その他にも、エコマーク商品を出店、販売する企業リストや登録情報などの情報、また、国、自治体、海外のグリーン購入基準情報、グリーン購入法に関する情報、エコマーク事業に関する情報などもまとめて掲載されている。

事例5 3R配慮製品の生産・販売に関する情報

事例	グリーン購入ガイドライン
発信主体	グリーン購入ネットワーク
概要	<p>グリーン購入ネットワークは、グリーン購入の取り組みを促進するために1996年2月に設立された企業・行政・消費者が、同じ購入者の立場で参加しているネットワークである。ネットワークでは、優れた取組事例の表彰・紹介、購入ガイドラインの策定、環境に配慮した商品情報をまとめたデータベースづくりとデータブックの発行、国内外における調査研究活動、地域ネットワークの立ち上げなどを実施している。</p> <p>「購入ガイドライン」は、同ネットワークで定めた基本原則に基づいて商品分野ごとの購入指針を、会員のメーカー企業、購入側企業、消費者団体、環境NGO、自治体などが参加して、半年以上の議論を踏まえ策定している。</p> <p>「環境に配慮した商品のデータベース」は、「購入ガイドライン」に沿って商品を環境面から比較選択できるように、各メーカーが提供する約5000商品の環境情報を一覧表にまとめており、商品分野ごとにした冊子と、「グリーン購入のためのGPNデータベース」で情報を提供している。</p>
開示情報の項目	<p>購入ガイドライン策定、データブック発行品目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OA・印刷用紙、 ・トイレトペーパー、 ・ティッシュペーパー（データブック：紙編） ・コピー機、プリンタ、ファクシミリ、 ・パソコン（データブック：OA・情報機器編） ・文房具・事務用品（データブック：文房具・事務用品編） ・照明（ランプ・照明器具）（データブック：照明編） ・自動車（データブック：自動車編） ・冷蔵庫、洗濯機、エアコン、テレビ（データブック：家電製品編） ・オフィス家具（データブック：オフィス家具編） ・制服・事務服・作業服（データブック：制服・事務服・作業服編） ・オフセット印刷サービス
出典	<p>グリーン購入ネットワーク：http://eco.goo.ne.jp/gpn/index.html</p> <p>グリーン購入のためのGPNデータベース：http://gpn2.wnn.or.jp/gpn/view/gpn_db_top.asp</p>

「OA用紙・印刷用紙」購入ガイドライン

グリーン購入ネットワーク（GPN）

1. 対象の範囲

このガイドラインは、OA用紙(コピー用紙、プリンター用紙、ファックス用普通紙等)及び印刷用紙を購入する際に環境面で考慮すべき重要な観点をリストアップしたものです。

2. ガイドライン

OA用紙(コピー用紙、プリンター用紙、ファックス用普通紙等)及び印刷用紙の購入にあたっては、以下の事項を考慮し、できるだけ環境への負荷の少ない製品を購入する。

[OA用紙、印刷用紙共通]

1) 古紙を多く配合していること

2) 白色度が低いこと

[印刷用紙に関して]

3) 表面塗工の度合いが少ないこと

4) プラスチックコーティングなどリサイクルしにくい加工がされていないこと

このガイドラインは社会状況の変化や新たな知見によって必要に応じて改定されます。

1996年11月7日制定

データブック：家電製品編（冷凍冷蔵庫 検索結果例）

機種名	事業者名	定格内 消費電力	省エネ 特記	冷媒			難燃材質選別			リサイクル 設計	燃焼 特記	機軸 特記	標準価格 (円)	
				物質名	オゾン 影響 緩和 化	地球 温暖 化 防止	物質名	オゾン 影響 緩和 化	地球 温暖 化 防止					
三菱小形R-22YK	日立製作所	215490	省	HFC-134a	○	○	HFC-141b	○	★	○	なし	省	省	オープン
Fairlady ER-M25F	富士通ゼネラル	250450	省	HFC-134a	○	○	シクロペンタン	○	○	○	なし	省	省	120000
SR-26A	三洋電機	255400	省	HFC-134a	○	○	シクロペンタン	○	○	○	なし	省	省	120000
WLL NR-E25E1	松下冷蔵	260410	省	HFC-134a	○	○	シクロペンタン	○	○	○	なし	省	省	160000
Fairlady ER-M20F	富士通ゼネラル	300450	省	HFC-134a	○	○	シクロペンタン	○	○	○	なし	省	省	130000
SR-36A	三洋電機	355450	省	HFC-134a	○	○	シクロペンタン	○	○	○	なし	省	省	145000
Fairlady ER-M25KF	富士通ゼネラル	360490	省	HFC-134a	○	○	シクロペンタン	○	○	○	なし	省	省	165000
スキャン・Tanfo NR-C37D2	松下冷蔵	365440	省	HFC-134a	○	○	シクロペンタン	○	○	○	なし	省	省	オープン

事例6 3 R配慮製品の生産・販売に関する情報

事 例	エコマーク商品総合情報サイト(Green Station)
発 信 主 体	JEA 財団法人 日本環境協会
概 要	<p>環境保全に役立つ商品に対してエコマークの認定を行っている財団法人 日本環境協会ではエコマーク商品総合サイト (Green Station) を立ち上げ、運営している。サイトではエコマーク商品の分野別カタログがメインで、その他、エコマーク商品を出店、販売する企業リストや登録情報などの情報を掲載している。また、国、自治体、海外のグリーン購入基準情報、グリーン購入法に関する情報、エコマーク事業に関する情報などがまとめられている。</p>
開 示 情 報 の 項 目	<p>エコマーク商品全般 (事務用品、生活用品、繊維用品、建築部材、工事用品、その他、グリーン購入法適合商品) 国・自治体情報 (グリーン購入の方針一覧、グリーン購入に関する調査結果、海外のグリーン購入の取り組み) グリーン購入法情報 (グリーン購入の仕組み、グリーン購入におけるエコマークの位置づけ) エコマーク情報 (エコマーク事業について、エコマーク認定基準一覧、エコマークQ & A)</p> <p>メールマガジン登録、見積もり会員登録、納入業者登録をするとそれぞれ必要な情報が送信されたり、見積りなどの問い合わせができるシステムがある。</p>
特 記	<p>エコマーク商品には以下の2種類がある</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. グリーン購入推奨商品： 調達方針の商品分野に該当しないが、グリーン購入法適合商品と同様の環境負荷低減 効果をもち、グリーン商品としての購入を推奨する商品 2. グリーン購入法適合商品 グリーン購入法の調達方針 (14分野 101品目) に該当し、適合している商品
出 典	<p>エコマーク商品総合情報サイト (www.greenstation.net) 財団法人 日本環境協会 (http://www.jeas.or.jp/)</p>

(財)日本環境協会HPトップ

商品を見る

- ▶ 事務用品
- ▶ 生活用品
- ▶ 繊維製品
- ▶ 建築部材・工事用品
- ▶ その他
- ▶ グリーン購入法適合商品



このサイトに掲載している情報は
エコマーク事業を運営している
(財)日本環境協会監修によるものです。

国・自治体情報 GO

- ▶ グリーン購入の方針一覧
- ▶ グリーン購入に関する調査結果 page

グリーン購入法情報 GO

- ▶ そもそもグリーン購入って?
- ▶ グリーン購入法におけるエコマークの位置付け page

エコマーク情報 GO

- ▶ エコマーク事業とは?
- ▶ エコマークQ&A page

企業情報 GO

- ▶ グリーンステーション出品企業一覧
- ▶ グリーンステーション登録販売店一覧

メールマガジン登録 GO

エコマークの最新情報などをメールでお届けします。登録の解除はこちらからできます。

見積会員登録 GO

エコマーク商品の見積りや、商品についての問合せをする場合は見積り会員の登録をお願いします。
※法人のみのサービスです。

環境に関する質問はコチラから

※質問の内容によってはご回答できませんので、予めご了承下さい。
質問への回答はQ&Aのページにて掲載しています。

What's new

- ▶ 環境に関する質問の回答をアップしました。(2022.3.14)
- ▶ 環境に関する質問の回答をアップしました。(2022.3.11)

(財)日本環境協会・エコマーク商品総合情報サイト

「コクヨ」での検索結果例

	<p>最新国産イス1000シリーズ2Dフルマニージャスト メーカー: コクヨ株式会社</p> <p>定価: 45,800円 ●肘/ポリプロピレン●脚/強化ナイロン●機能/シートロック機構、座昇降機構(ガススプリング)●双輪キャスター ※新用品>いす</p>	グリーン購入法適合商品
	<p>ダイアフィットチェア-2マニージャスト メーカー: コクヨ株式会社</p> <p>定価: 248,000円 ●本体/表裏両色張り●肘/ウレタンスキンモールド、アルミダイカスト●脚/アルミダイカスト ※新用品>いす</p>	グリーン購入法適合商品
	<p>ダイアフィットチェア-2マニージャスト メーカー: コクヨ株式会社</p> <p>定価: 208,000円 ●本体/表裏両色張り●肘/ウレタンスキンモールド、アルミダイカスト●脚/アルミダイカスト ※新用品>いす</p>	グリーン購入法適合商品

リサイクルJISの動向

事業者が再生資材の購入を検討する際に、その再生資材の品質レベルに関する情報に対するニーズは大きい。製品製造、あるいは建設に用いられる場合は、その利用製品の安全性までを確認する必要があるため、製品の品質及びその安全性を保証する規格化(JIS)の取組が必要になってくる。また、「環境保護・資源循環」を目的とした JIS 化は、日本工業標準調査会においても、21世紀に向けた標準化の重点分野の一つとして取り上げられている。以下に、循環型社会構築に関連する JIS の一覧を示す。

循環型社会構築に関連する JIS の一覧

(平成13年3月末現在)

(1) 再利用(リユース)

再利用を目的として制定している JIS はない。

なお、結果的に再利用されているものとして、Z 0606 (プラスチック製平パレット) 等がある。

(2) 再資源化(リサイクル)

該当 JIS の名称及び番号	リサイクルに関する規定内容	備考
道路用鉄鋼スラグ A 5015	道路の路盤及び加熱アスファルト混合物に使用する鉄鋼スラグの製品規格。 鉄鋼スラグには、高炉スラグと製鋼スラグがあり、平成5年に製鋼スラグを追加規定した。 用途によって種類分けがされている。	
コンクリート用高炉スラグ微粉末 A 6206	高炉水淬スラグを乾燥粉碎し微粉末化したものを主原料とし、コンクリート又はモルタルの混和材料として使用することを目的とした製品規格。 高炉スラグの微粉末度に応じた品質、試験方法などを規定。	コンクリート品質の多様化(高強度、高流動、高耐久性)のニーズに応ずるべき混和材として JIS 化した。
コンクリート用スラグ骨材 A 5011-1 -2 -3	銑鉄、フェロニッケル、銅を精錬採取する際に副産されるスラグのコンクリート用骨材としての規格。 第1部：高炉スラグ骨材 第2部：フェロニッケルスラグ骨材 第3部：銅スラグ骨材	
(溶融スラグ)	(廃棄物焼却及び下水処理汚泥由来の溶融スラグを建設資材として有効活用するための標準化調査研究実施中。)	
繊維板 A 5905	特に規定はなし。	現在、コンパネ、柱材のくず、合板工場でのくず等の原料はほぼ100%廃材使用。
パーティクルボード A 5908	特に規定はなし。	現在、コンパネ、柱材のくず、合板工場でのくず等の原料はほぼ100%廃材使用。
鉄筋コンクリート用棒鋼 G 3112	化学成分の規定のみで、リサイクルに関する記述はない。	現在、鉄くずの利用率は約80%。

該当 JIS の名称及び番号	リサイクルに関する規定内容	備考
再製鋼材 G 3111 鉄鋼コンクリート 用再製棒鋼 G 3117	材料として再生用圧延鋼材を用いる規定を行い、化学成分の規定はない。	鉄くずを再溶解するのと違い、再生鋼材はレール、パイプなどを再圧延（再引抜き）して製品化するもので、100%リサイクル品である。品質上は、ピュアなものとは差はないが、なかなか需要が伸びない。
一般構造用圧延鋼材 G 3101 溶接構造用圧延鋼材 G3106	化学成分の規定のみで、リサイクルに関する記述はない。	電炉で約 80%、高炉で約 10%の再資源化率。
アルミニウム二次地金 H 2103	特に規定はなし。	アルミ地金の約 1/3 が再生地金。
(アルミニウムドロス)	(品質基準及びアルミドロス中の金属アルミ製の簡易分析法について調査研究中。)	再資源化率約 38%
鉛地金 H 2105	特に規定はなし。化学成分にも規定。	
フライアッシュ A 6201	この規格は、微分炭燃焼ボイラーの煙道から集塵器で採取されたフライアッシュをコンクリート又はモルタルの混和材として使用するためのフライアッシュの製品規格である。	
トイレット ペーパー P 4501	この分野の古紙の消費割合は 60%を超えており、JIS では具体的な規定はしていないが、その品質は古紙混入を前提としてある。	
封筒 S 5502 便せん S 5503 ノートブック S 5504 事務用ファイル S 5505 S 5506 原稿用紙 S 5508 レポート用紙 S 5509	平成 4 年～平成 6 年の改正で、「使用する原紙は古紙を原料としたものを使用できる」旨の記述や、原紙に使用できる用紙として P 3201（筆記用紙）に規定する筆記用紙 B，C を追加規定する等、古紙が利用し易くなるよう配慮した。	
プラスチック製大型ふた 付き容器 S 2040	平成 6 年の改正で、材料について再利用プラスチックを使用してよい旨を追加規定した。	
反毛フェルト L 3204	この規格の対象は、主として糸くず、織物その他繊維製品などの反毛繊維を用いて製造されたものであり、新繊維を用いて作られるものは対象外である。	
再生プラスチック製の 棒、板及びくい K 6931 再生プラスチック製の標 識くい K 6932	この規格は、各種の再生プラスチック素材（各種プラスチックの重合及び加工工程において発生したくず、各種プラスチックの使用済みの成形品など）を用いて成形したくい等について規定したものである。	
(雨水ます及びふた)	(再生プラスチック製雨水ます及びふたについて規格化を調査研究中。)	

該当 JIS の名称及び番号	リサイクルに関する規定内容	備考
農業用ポリ塩化ビニルフィルム再生か粒成形材料 K 6930	使用済みの農業用ポリ塩化ビニルフィルムを裁断、洗浄し、混練による発熱を利用して顆粒状にしたものである。	この顆粒上のは、床材、マット等の製品を製造するときにバージン原料と混合して使用される。
再生 P E T 成形材料試験法 T R K 0001	使用済み P E T ボトルを再生処理したフレーク状の成形材料の試験方法	
更正タイヤ K 6329	この規格は、磨耗した自動車タイヤ等のトレッドゴムをはり替えて再び使用できるように更正して、機能を復元したタイヤについて規定したものである。 「リサイクル台タイヤ使用」等の目的付記マークの標示を規定している。	用途は、トラック、バス用が主である。 98 年に追補 1 を発行。
更正タイヤ用練り生地 K 6370	更正タイヤ用の原料性能について規定している。	99 年 8 月改正。
再生ゴム K 6313	この規格は、自動車タイヤ、チューブその他のゴム製品の使用済みゴムを再生したのものについて規定したものである。	用途としては、長靴、タイヤ用チューブ等に合成ゴム等とともに混入される。99 年 4 月改正。
ゴム粉 K 6316	加硫ゴムの粉砕によって得られたゴム粉の種類と性能について規定している。	98 年 12 月改正。
ゴムブロック・ゴム弾性舗装 試験方法 K 6450	ゴム粉を原料としたゴムブロック・ゴム弾性舗装製品の評価法。	99 年 9 月制定。
外装用ダンボール Z 1506 Z 1516	特に規定はない。	再資源化率約 90% 以上。

(3) 再資源化可能な素材の使用 (リサイクル容易)

該当 JIS の名称及び番号	リサイクルに関する規定内容	備考
プラスチック製通い容器 Z 1655	再資源化可能に関する以下の記述を規定している。 “ 使用する素材は、再生資源として利用できるもので、ポリエチレン、ポリプロピレン、ABS樹脂、ポリカーボネート、AS樹脂、メタクリル樹脂、ポリアミド樹脂又はこれらと同等以上の品質をもつもの。”	
プラスチック製平パレット Z 0606	再資源化可能に関する以下の記述を規定している。 “ 使用する素材は、再生資源として利用できるもので、ポリエチレン、ポリプロピレン、ABS樹脂、不飽和ポリエステル又はこれらと同等以上の品質をもつもの。”	
電気洗濯機 C 9606 電気冷蔵庫及び電気冷凍庫 C 9607 ルームエアコンディショナー C 9612	「再生資源としての利用可能な部品及び製品構造を採用することが望ましい。」「再生資源としての利用可能な材料を採用することが望ましい。」旨を規定している。	

(6) エネルギー回収

該当 JIS の名称及び番号	リサイクルに関する規定内容	備考
廃棄物固形化燃料 T R Z 0011	廃棄物由来の固形化燃料の形状、寸法、発熱量、水分、灰分などについて規定し、全塩素分などを表示。 (TR の JIS 化及び粉化度・貯蔵性私権法などについて調査研究実施中。)	試験法は通則、発熱量、水分、灰分、金属分、全塩素分を JIS 化 (Z 7302-1~6)、硫黄分、かさ密度、元素分は TR 化 (Z 0012~14)。
廃プラスチック熱分解油 T R Z 0015	第1部としてボイラ用燃料規格を T R 化。 (TR の JIS 化及びディーゼル発電機用燃料規格について調査研究実施中。)	TR の付属所として塩素分試験法を規定。
(再生重油)	(廃潤滑油を燃料として再生した油の規格化を調査研究中。)	

(7) その他

該当 JIS の名称及び番号	リサイクルに関する規定内容	備考
製品規格に環境側面を導入するための指針 Q 0064	規格作成者を対象に、製品規格の中で環境側面について考慮しなければならない事項について規定。付属書(参考)には「電気・電子危機」	
プラスチック規格への環境側面の導入に関する指針 Z 7001	プラスチック関係の規格を制定又は改正する場合に、環境について配慮しなければならない事項の指針について規定。	2000年4月制定
(プラスチックリサイクル)	(適切なリサイクルを実施するための指針などについて標準化調査研究中。)	
(建材リサイクル)	(適切なリサイクルを実施するための指針などについて標準化調査研究中。)	

出典：日本規格協会/「JIS ハンドブック 54 リサイクル 2002」

表.1-7 循環型社会構築のための規格化状況と検討課題(1)

規格の目的・種類 業種・品目	3 R 共通	リデュース	リユース	(マテリアル)リサイクル		リサイクル-回収	最終処分
	解体容易設計	製品寿命延長 材料使用量削減	製品・部品等再使用	リサイクル容易 リサイクル材料使用			
	解体容易性評価基準 解体方法表示等	残存寿命測定法 材質・構造等選定評価基準	製品・部产品分类法 品質・安全性等試験法	リサイクル容易材料使用 リサイクル容易性評価法	不純物等含有量試験法 用途別試験法 受入基準 回収材料情報		廃棄方法等情報伝達再リサイクル・最終処分方法
鉄鋼業				鉄くず分類基準： G 2401 G 2401 改正検討：専	道路用鉄鋼スラグ： A 5015 コンクリート用スラグ骨材： A 6206 鉄筋コンクリート用棒鋼： G 3112 再生鋼材： G 3111 鉄筋コンクリート用再生棒鋼： G 3117 一般構造用圧延鋼材： G 3101 溶接構造用圧延鋼材： G 3106 電気炉酸化スラグ：産		
	副産物・廃棄物のリデュース・リサイクル促進				鉄鋼スラブ利用拡大 電気炉酸化スラグ JIS 化 再生品市場拡大・廃材受入等産業関連連携推進		
スチール缶					リサイクル率算出方法：産		
		一層の薄肉化、軽量化			リサイクル率算出方法の標準 リサイクル率目標 82.5 85% 製鋼原料としての用途拡大		
非鉄金属製造業				アルミニウムくず及びアルミニウム合金くず分類基準：H 2119 H2119 改正検討：専 銅くず及び銅合金くず分類基準：H 2109 H 2109 改正検討：専 マグネシウムくず及びマグネシウム合金くず分類基準：公 亜鉛、鉛、錫等くず分類・成分表示：専	アルミニウム二次地金：H 2103 アルミニウム：調 鉛地金：H 2105		
	副産物・廃棄物のリデュース・リサイクル促進：産				スラグ用途開発 廃棄物からの非鉄金属回収		

表.1-7 循環型社会構築のための規格化状況と検討課題(2)

規格の目的・種類	3 R 共通	リデュース	リユース	(マテリアル)リサイクル		エネルギー回収	最終処分
				リサイクル容易	リサイクル材料使用		
アルミ缶等					リサイクル率算出方法:標準化		
		薄肉化、軽量化の促進			リサイクル率目標 74.4% 80% CAN to CANの推進 容器包装のアルミキャップ・アルミチューブ等のリサイクル		
板ガラス製造業					建設廃ガラス・びんカレットの建材リサイクル:調		
	副産物のリデュース・リサイクル促進				磨き砂汚泥のガラス、セメント、銅精練、窯業建材等へのリサイクル 建設・自動車等廃ガラスのリサイクル		
ガラスびん					色(混み)カレットのリサイクル:専門		
		軽量びんの開発・普及	リターナブルびんの利用促進	ガラスびん分別・カレットの品質の向上	カレット使用率向上、エコボトルの利用推進 タイル、軽量骨材、舗装用骨材等カレットの用途開発		
化学工業	副産物のリデュース・リサイクル、有害廃棄物の適正処理	副産物の発生抑制			汚泥の石膏、セメント、肥料等への利用:産		(有害)廃棄物の性状、処理方法等の情報提供

表.1-7 循環型社会構築のための規格化状況と検討課題(4)

規格の目的・種類	3R共通	リデュース	リユース	(マテリアル)リサイクル		エネルギー回収	最終処分
				リサイクル容易	リサイクル材料使用		
紙・パルプ製造業					トイレtp紙：P 4501 封筒：S 5502 便せん：S 5503 ノートブック：S 5504 事務用ファイル：S 5505 多穴式バインダー：S 5507 原稿用紙：S 5508 レポート用紙：S 5509 外装用段ボール：Z 1506 Z 1516 古紙含有率計産方法：専		
				再生容易な飲料用紙パック 古紙回収促進	汚泥、石炭灰、汚泥焼却灰等の用途開拓 古紙利用拡大 印刷・情報用紙古紙混入率の拡大、古紙利用衛生紙・ノート・コピー用紙等の購入促進、再生紙・古紙混入率表示推進、再生紙使用拡大、低級古紙の他用途利用など 製材残材、建設発生木材の製紙原料利用		
流通業	環境配慮商品の販売 食品・容器包装等廃棄物の減量化	容器包装材の減量化	買物袋の繰り返し使用 詰め替え製品(包装材)の選定	リサイクル容易包装材のしよ	リサイクル包装材の使用		廃棄処理容易包装材の使用
繊維工業	リデュース・リサイクルの促進	サプライチェーンにおける廃棄物減量化			汚泥等のリサイクル 繊維くず等の再資源化	繊維くず等からのエネルギー回収	
繊維製品				リサイクル容易な繊維製品：専	再生衣料品評価法・表示：専 反毛フェルト：L 3204		
		サプライチェーンにおける廃棄物減量化		易リサイクル製品開発	リサイクル技術・用途開発 PETフレック利用促進	RPF(燃料化)技術開発	

表.1-7 循環型社会構築のための規格化状況と検討課題(5)

規格の目的・種類	3 R共通	リデュース	リユース	(マテリアル)リサイクル		エネルギー回収	最終処分
				リサイクル容易	リサイクル材料使用		
自動車製造業・同部品製造業							
	リデュース・リサイクルの促進		リユース容易な部材の採用	リサイクル容易な部材の採用	プラスチック部品リサイクルのための素材等の技術開発 プラスチック部品リサイクルの新規利用分野の調査研究 部品生産工程からの金属くずのリサイクル		
	部品取り外し容易構造						
自動車			リユースリビルト部品の品質・安全性試験法：専				
	関連事業者の分担・協力によるリサイクル率向上 3 R配慮設計	長寿命化設計された部品の利用	部品の共通化、リユース可能な部品、リユース部品を補修に使用	化学業界との連携によるプラスチックのグレード削減、リサイクル用途開発	廃油、廃液、廃バッテリー、フロン等のリサイクル、リユースの可能性 バンパーのリサイクル、リユース	使用済みプラスチック等可燃性廃棄物からのエネルギー回収	
オートバイ							
	関連事業者の分担・協力によるリサイクル率向上 3 R配慮設計	長寿命化設計された部品の利用	部品の共通化、リユース可能な部品、リユース部品を補修に使用	化学業界との連携によるプラスチックのグレード削減	プラスチック部品のリサイクル		
自動車用・二輪車用鉛蓄電池							
	バッテリーの回収、再資源化						
ゴム製品製造業					再生ゴム：K 6313 ゴム粉：K 6316 ゴムブロック・ゴム弾性舗装試験方法：K 6450		
					廃タイヤ等からの熱回収後の燃えがらのリサイクル		
タイヤ					更正タイヤ：K 6329 更正タイヤ用練り生地：K 6370		
					更正タイヤの需要拡大 ゴム粉、再生ゴム、化学分解生成物の利用等用途拡大	セメント、鉄鋼用等でのエネルギー回収	

表.1-7 循環型社会構築のための規格化状況と検討課題(6)

規格の目的・種類	3 R 共通	リデュース	リユース	(マテリアル)リサイクル		エネルギー回収	最終処分
				リサイクル容易	リサイクル材料使用		
電子・電気機器製造業					再資源化用途拡大のためのセメント、鉄鋼等との連携 廃プラ、フッ酸、廃アルカリの再資源化		
家電製品			リユース・リビルト部品の品質・安全性私権法・専	電気洗濯機：C 9606 電気冷蔵庫及び電気冷凍庫：C 9607 ルームエアコンディショナー：C 9612			
	3 R 配慮設計 衣類乾燥機、電子レンジ等の解体配慮	長寿命化設計された部品の利用	リユース部品 材質表示等推進	リサイクル容易素材の選択：産 プラスチック等の種類、グレード削減	リサイクル材の活用		
乾電池・ニカド電池等				円筒密閉型ニッケル・カドミウム蓄電池：C 8705			
				充電式電池 4 種の識別色表示推進			
複写機			リユース部品の品質・安全性試験法：専				
	3 R 配慮設計		リユース部品の利用	プラスチック等のグレードの削減、材質表示	リサイクル材の利用 プラスチック部品のリサイクル		
パソコン・周辺機器			リユース部品の品質・安全性試験法：専				
	3 R 配慮設計	アップグレードなどリデュースの取組	部品(MPU、メモリ、HDD、ケーブル等)リユース	リサイクル容易な材料の利用 プラスチック等の種類・グレードの削減、材質表示	リサイクル材の利用		

表.1-7 循環型社会構築のための規格化状況と検討課題(7)

規格の目的・種類	3R共通	リデュース	リユース	(マテリアル)リサイクル		エネルギー回収	最終処分
				リサイクル容易	リサイクル材料使用		
建設資材等製造業	建材リサイクル:専:調:分				繊維板:A 5905 パーティクルボード:A 5908 木質計廃材のリサイクル:専:調 廃プラ建材:専:調:A 廃棄物溶融スラグ:専:調 ガラスカレット路盤材:分 古紙利用天井板:分 プラスチック/木材混入 新材材:分		
	窯業系サイディング解体容易施工	窯業系サイディングの調寿命製品普及・耐久性向上施工法の普及	リユース容易なアルミサッシ	解体容易な簡易接着タイプの塩ビ製床材の普及	建設発生木材の繊維板・パーティクルボード等へのリサイクル拡大 繊維板・パーティクルボードの利用拡大 窯業系サイディングのセメントへのリサイクル 廃ALCパネルの軽量コンクリート骨材・セメント原料へのリサイクル グラスウールへの板ガラスくず等利用の維持向上 ロックウールへの高炉スラグ利用の維持向上 灰瓦のリサイクル・リサイクル瓦 塩ビ製建材のリサイクル 使用済み農ビ等の床材への使用率向上 畳のリサイクル		
	ALCパネルの剥離容易乾式工法の普及	ALCパネルの長寿命製品開発、改修・補修技術		塩ビ製材質表示可能性			
	浴槽及び浴室ユニットの解体配慮	金属屋根の長寿命製品普及		リサイクル容易なアルミサッシ			
	解体容易な金属屋根 解体容易な金属サイディング システムキッチンの解体配慮	金属サイディングの長寿命製品普及					
セメント製造業						他産業廃棄物・副産物の燃料化	
					他産業廃棄物・副産物の原料化		